

アグリ新聞

株式会社
みらい蔵
企画管理課
山本
廣瀬
山村



稲刈り後の田んぼに

石灰窒素



石灰窒素には殺菌・殺虫・除草の農薬効果、暖効性窒素・カルシウム等の肥料効果、腐熟促進・酸度矯正等の土作り効果があります。

特に、稲刈り後のワラのすき込みをした田んぼにお薦めです。ワラがうまく腐らないと代かきの作業性が悪く、又、成長期に窒素不足を起こします。



年内の施用はさらに早めるので一反に10キ口〜20キ口の施用をお薦めします。

ワラの腐熟は微生物が大きくなるのですが、その微生物のえさは炭素と窒素です。稲ワラは、窒素分が不足しているため石灰窒素で補給し、微生物を活性化し腐熟を促進します。使用すれば、腐熟を30日程早めます。石灰窒素の施用で強固で健全な稲を作り、米の品質と収量を増加させましょう。

交米農事便り

今年も沢山の皆さんに御加勢頂いて、シヨウガの収穫が始まりました。

今年の植付けは3町です。

雨の欲しかった時期に、日照りが続き、いよいよに派に育ちました。こんなに立派に育ちました。約3キロ程に育ち、ひと株、かなりの重さになりました。収穫もかなり重なり、なりす。

天候にもよりますが、順調なら十日程で収穫作業が終了になります。もうひと頑張りです。



25年産玄米 お売りください。

受付は毎日(株)みらい蔵で、しております。(印鑑をお持ちください。)

又、お米のお買取りとともに、道の駅や直売所でお米を売るお客さまのお米の検査のみの受付もしております。

詳しくは
(株)みらい蔵[米穀事業部]安東まで



097-578-1155



ホームページ ご覧下さい! <http://mirai-zou.co.jp>

タマネギ

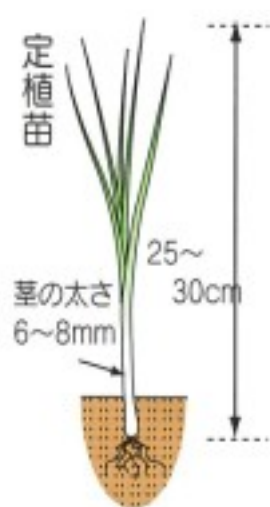
和名 玉葱(ユリ科)
原産地 中央アジア



タマネギは世界中で栽培され、多くの料理に利用出来る無くてはならぬ野菜の一つです。

又、切る時に涙を出させる硫化アリルという物質と、ツンとくるにおいの原因となるアリシンには、血液サラサラや神経を鎮める効果があるらしく、適度に食べたい食材です。

稲刈りもひと段落したこの時期、夢アグリ店頭には、極早生の貴錦から始まりだんだんと、たまねぎ苗が並びます。今回は、玉ねぎの定植から収穫の目安です。タマネギは、大苗で冬越しをすると春先にとっ立ちする原因になります。茎の太さが8ミリ以下の苗を選びましょう。



早生品種は11月中下旬、中生(中晩生品種は11月下旬)12月上旬が植えつけ適期です。

菜園はあらかじめ、1㎡当り

苦土石灰 150g

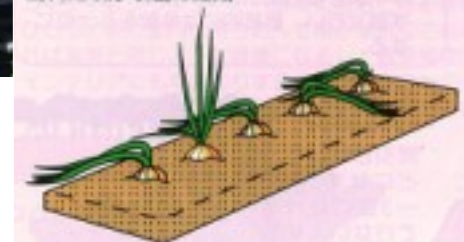
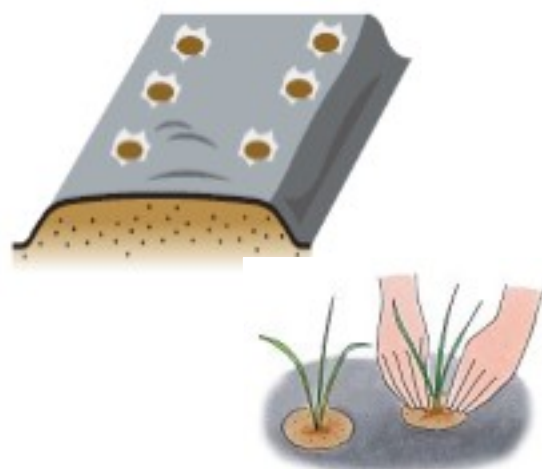
堆肥 2kg

化成肥料 150g

を施し、よく耕しておきましょう。

乾燥防止、雑草の発生抑制、泥跳ねによる汚と病気の防止等を考えるとマルチシートを使うことをお勧めします。

マルチ栽培の場合は15cm間隔に穴のあいた黒マルチを敷き、穴ごとに指を指して穴をあけ、深さ2cmほどで葉の緑の部分に土がからないように浅く植えます。



一月の中旬から二月の始めの間に追肥を施します。

収穫の目安としては、極早生品種は3月頃から大きくなった物を、順次収穫します。

貯蔵性の品種は全体の7~8割の茎葉が倒れた頃、天気の良い日を見計らって引き抜き、2~3日そのまま乾かします。

軒下など、風通しのよい日陰の場所ですり玉にします。

家庭では、10月上旬ごろまでとなります。

また、冷蔵貯蔵をする場合は、0~2℃が目安です。

比較的、栽培に手のかからない野菜です。ぜひ、挑戦してみましょう。

作付け面積・品種登録にご協力ください。

夢アグリでは、

作物ごとの防除情報や助成金のお知らせなど、農家さんのお役に立つ、みみよりの情報をお届けします。登録はレジで簡単に出来ます。是非、ご協力をお願い致します。

編集後記

10月23~25日まで、東京ビッグサイトで行われたアグロ・イノベーション2013に出展致しました。想像以上の広さと規模、お客様の意識の高さにとても刺激を受けた3日間でした。帰ってからの反響も大きく、全国からお問合せが続々来ております。

展示会が、お米とショウガの収穫の時期に重なり、会社全体が大忙しになり大変でしたが、大きな成果と飛躍がみれた展示会でした。御来場の皆さまありがとうございました。 廣瀬

